

12/7-13 **OL Summary:**

I. 「私はこの時代の満了まで、日々あなたがたと共にいる」(マタイ28:20):

A.「満了」という言葉が意味するのは、完成または成就へともたらされる過程があるということです。

B.この時代の満了とこの時代の終わりは、同じことを言っています。

C.マタイ28:20で「この時代の満了」が示していることは、召会時代(すなわち、恵みの時代)の終わりです。

D.この時代の満了は、大患難の三年半のことです。

II. 現在の時代(すなわち、恵みの時代、召会の時代)は、奥義の時代です:

A.啓示録10:7は、「神の奥義は完成される」と言います。神の奥義を完成するとは、奥義の時代を閉じることです。

B.アダムからモーセまでの時代と、モーセからキリストまでの時代では、あらゆることは明らかに示され、奥義はありませんでした。それは、千年王国の時代でも、新しい天と新しい地でも、同じです。あらゆることは明らかに示され、もはや奥義はありません。

C.キリストの肉体と成ることから千年王国までの時代(すなわち、召会時代、恵みの時代)では、あらゆることは奥義です:

①キリストの肉体と成ることは奥義であり、奥義の時代の開始です。キリストの肉体と成ることを通して、無限の神は有限な人の中へもたらされました。

②キリストは神の奥義です:

(a)神は奥義です。神の具体化として神を表現するキリストは、神の奥義です。**(b)**キリストは神の奥義として、神の具体化です。神たる方の全豊満は、肉体のかたちをもってキリストの中に住んでいます。

③召会はキリストの奥義です:

(a)キリストは奥義です。キリストのからだとしてキリストを表現する召会は、キリストの奥義です。**(b)**キリストと召会が一つ霊であることは、偉大な奥義です。

(c)召会時代(奥義の時代)の間に、キリストは、召会、キリストのからだを建造して、彼の花嫁とならせつつあります。

④天の王国、福音、キリストの内住、聖徒たちの来たるべき復活と変貌はすべて、世々にわたって隠されていた奥義です。⑤第七のラッパが吹かれて鳴る時、すべての奥義は完成し、成就し、終わります。

D.私たちは、「万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー[経綸]が何であるかを、すべての人を照らして明らかにする(エペソ3:9)」ことを必要とします:

①新約において奥義は、私たちに対して隠されていて知らされていないものを指しているだけでなく、神の心の中に隠されているものも指しています。

②神の奥義は、神の隠されている定められた御旨であり、それはご自身を神の選ばれた人々の中へと分与することです。このゆえに、神の奥義のエコノミーがあります。③神の心の中に隠された奥義は、神の永遠のエコノミーです。それは、神の永遠の意

図と神の心の願いであって、ご自身を彼の神聖な三一の中で、すなわち、御父を御子の中でその霊によって、彼の選ばれ贖われた人々の中へと分与して、彼らの命と性質とならせることです。それによって彼らは、彼であるのと同じになって彼の複製となり、一つの有機体、すなわちキリストのからだとなって、新しい人となり、それは新エルサレムとなります。

④パウロは、キリストの計り知れない豊富の福音を宣べ伝えました。彼はまた、神の中に隠されていた奥義のエコノミーに関する福音を宣べ伝えました:

(a)神の中に隠されていた奥義のエコノミーに関する福音は、神の永遠の定められた御旨にしたがって、召会を生み出し、こうして神を表現し、神の栄光を現すことです。**(b)**今日私たちは、神の中に隠されていた奥義に関する福音を宣べ伝えて、万物を創造された神の中に隠されていた奥義のエコノミー[経綸]が何であるかを、すべての人を照らして明らかにしなければなりません。神が万物を創造されたのは、神のみこころ、神の心の願い、神の永遠の定められた御旨を成就するためです。

III. 奥義の時代は、信仰の時代です:

A.神の奥義は、信仰によって知らされます。こういうわけで、奥義の時代は、信仰の時代でもあります。

B.信仰は実体化する能力であり、それによって私たちは、見ていない事柄や望んでいる事柄を実体化して、それらに実体を与えます:

①信仰は、見ていない事柄を私たちに確信させ、私たちが見ていないものを私たちに確認させます。ですから、それは見ていない事柄の証拠、証明です。

②私たちは見えるものではなく、見えないものに目をとめ、それを見つめます。③クリスチャン生活は、見えないものの生活です。主の回復は、彼の召会を見えるものから見えないものに回復することです。

C.信仰は、神が人においてご自身の新約エコノミーを遂行する唯一の道です:

①神のエコノミーは、信仰の中にあります。それは、信仰という領域と要素の中で開始し発展する事柄です。信仰がなければ、私たちは神のエコノミーを実際化することができません。②神の新約エコノミーの中で、信仰は、人々が神に接触するための唯一の要求です。③新約エコノミーの中にあるすべてのことに関して、私たちに對する神の要求は、信仰です。

④真の信仰とは、キリストご自身であり、彼は私たちの中へと注入されて、彼を信じる私たちの能力となります。主イエスは私たちの中へと注入された後、自然に私たちの信仰となります。⑤キリスト・イエスにある信仰を通して、私たちはキリストとの有機的な結合の中へもたらされます。この有機的な結合の中で、私たちはキリストを経験し、キリストを生きます。

⑥からだの中で、「神がそれぞれに…信仰の度量」(ローマ12:3)を割り当てました。ですから、私たちは自分自身について思うべきことを超えて思い上がることなく、「むしろ…冷静な思いで思うべきです」(12:3)。

⑦信仰は勝利者たちに対する神聖な要求であり、この要求は、キリストが勝ち誇って戻られるとき、彼らがキリストに会って、王国の褒賞を受けるためです。

CP1: 神の奥義は完成され、現在の奥義の時代は終わる

啓示録10:7 しかし、第七の御使いが声を発する日、彼がラッパを吹こうとしている時に、神の奥義は完成される。神が彼の奴隷である預言者たちに、福音を宣べ伝えたとおりである。宇宙の奥義…神: あなたが神のない宇宙を持って、その宇宙は空虚です。…もしこの宇宙に神がおられないなら、私たちはみな、そのむなしさのゆえに泣くほかないでしょう。大きな入れ物があっても、内容がないことになります。惑星が存在するのは、神のゆえです。花がそんなにも美しいのは、神のゆえです。動物がそんなにもすばらしいのは、神のゆえです。人がここに存在するのは、神のゆえです。神が答えです。無神論者は、これは全くの迷信であり無意味であると言うかもしれませんが、しかしながら、私たちはなぜ天と地があるかを知っています。すべての花、穀物、動物、鳥が存在するのは、神のゆえです。宇宙があるのは神のゆえです。

神の奥義…キリスト: 神聖な奥義は、まず神の奥義であり、次にキリストの奥義です。私たちは、コロサイ人への手紙とエペソ人への手紙を読み、学び、祈る必要があります。…ユダヤ人は名目上、神を持っていますが、実際において、神を持っていません。彼らは奥義において、神を持っています。彼らが実際において、神を持っていないのは彼らが神の奥義を知らないからです。神の奥義はキリストです! もしあなたが神を知らないなら、そしてもし神に出会ったことがないなら、ただキリストに来てください。なぜなら神は、キリストの中に具体化されているからです。神たる方の全豊満は、肉体のかたちをもってこのキリストの中に住んでいます。もしキリストを信じないなら、あなたは神を失うでしょう。キリストがなければ、あなたが神を信じていると言っても、それは言葉にすぎません。あなたは奥義としての神を信じます。あなたは決して、神を認識することができません。あなたはキリストを通してでなければ、決して神に触れたり、神を得たり、神の中へと入ったりすることはできません。

キリストの奥義…召会: 今日、キリストの内住と召会は奥義です。…私たちが、「主を賛美します! 私たちはキリストを私たちの中に持っています」と言うと、人々は「見せてください」と言うかもしれません。これに対して、私たちは、「見せることはできませんが、キリストが私の中におられることを、私は知っています」と答えることができるだけです。キリストが私たちの中に住まわれることは奥義です。クリスチャンでない者は、レストランで会計係からおつりを多くもらいすぎた時、喜んで得をしたと思います。しかし、私たちがおつりをもらいすぎた時は戻します。これは会計係には不思議です。未信者は、私たちがどういう種類の人であるかを理解することができません。…今日は奥義の時ですが、第七のラッパが鳴らされるとき、奥義は終わります。第七のラッパが吹き鳴らされる時、キリストは出現され、全地は彼を認めるでしょう。その時、会計係はなぜ私たち不思議な人が、多すぎるおつりを戻したかがわかるでしょう。おそらく彼らは、「私たちは、彼らが愚か者だと思いましたが、今ようやくわかりました」と言うでしょう。彼らは今日この奥義を理解することができなくても、ある日それを理解するでしょう。

適用: 新人及び青少年・大学生編

宇宙の奥義…神: 新人や若者の皆さん、あなたは考えたことがありますか? 宇宙の奥義はいったい何でしょう? 宇宙には何千億という項目があり、それはまた、無限に広がっています。この宇宙は一体何のために存在するのでしょうか? 私たち人は何のために存在するのでしょうか? 詩篇8:3 私はあなたの指のわざであるあなたの天と、あなたが定められた月と星を見ると、FN「天」: ここで、夜における(月と星で示される)ダビデの観点は(混乱した)地を注視することから天を黙想することに転向しました。ダビデは暗い地から天の月と星を注視して、神の創造と宇宙における神聖な秩序を見ました。

宇宙の奥義、宇宙の究極の結論は、創造主である神がおられるという事です。そして、全被造物の中心である人の生存の目的は、神を受け入れ、神で満たされ、神を表現することです。

4 死ぬべき人は何者なので、あなたは彼を覚えられ、また人の子は何者なので、あなたは彼を訪れられるのですか? FN「訪れられる」: 神は天で、まず人を覚えられました。次に、彼は肉体となることを通して人となり、来て人を訪れられました。創造主である神を認識した後、更に偉大な二つの奥義について見ていきます。神の奥義であるキリストとキリストの奥義である召会についてです。あなたが宇宙の奥義からキリストと召会の偉大な奥義に前進することができますように。あなたが祝福されるために、必ずキリストと召会に関する神のエコノミーの中の学生生活やビジネスライフを送って下さい。

神の奥義…キリスト: コロサイ2:3 このキリストの中には、知恵と知識のすべての宝が隠されています。9 なぜなら、キリストの中には、神たる方の全豊満が肉体のかたちをもって住んでいるからです。あなたは日常生活で度々、主の御名を呼び求めてください。キリストの中には、知恵と知識の全ての宝があります。キリストの中には、神の全豊満が住んでいます。この認識を持って、神の奥義であるキリストの御名を呼び、呼吸すれば、あなたの学生生活やビジネスライフは引き上げられます。

キリストの奥義…召会: もしあなたが、召会はキリストの奥義であり、奥義の中の奥義であることを知らないなら、あなたは召会生活をいい加減に送るでしょう。キリストは今日、命を与える霊であり、目で見ることにはできません。しかし、キリストは召会の中におられ、召会はキリストの団体的な表現です。この奥義を理解するなら、あなたは召会生活を尊び、召会生活に留まるでしょう。

あなたは、自分は若いのでこれらの奥義を理解できませんと言ってははいけません。ウォッチマン・ニー兄弟とワイトネス・リー兄弟は、彼らの10代の時に、キリストと召会のビジョンを見て、全生涯、ビジョンをもって主に忠信に仕えました。祈り: 「主イエスよ、宇宙の奥義、宇宙の究極の結論は、創造主である神がおられるという事です。そして人の生存の目的は、神を受け入れ、神で満たされ、神を表現することです。私は神の奥義であるキリストを通して、神に触れ、神を得、神の中に入ることができます。そしてキリストの奥義である召会を尊びます。偉大な奥義であるキリストと召会のビジョンをはっきりと見て、最後まで忠信に歩み、祝福された人生を送ることができますように。アーメン!」

CP2:奥義のエコノミーである神聖な分与に開き、享受して、
キリストの豊富を人々の中に供給し、召会を建造する

OL1:召会はキリストの奥義です。**OL2:**私たちは、「万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー[経綸]が何であるかを、すべての人を照らして明らかにする」(エペソ3:9)ことを必要とします。

信者たちの中には、神の奥義であるキリストが住んでいます。しかし、この世の人々は、キリストが信者たちの中に住んでいることを認識していません。彼らにとって、これは奥義です。すべてを含むキリストは、奥義的な神の奥義です。そのようなキリストは神の奥義として、奥義的なからだ、すなわち召会を生み出します。こういうわけで、召会は、キリストという奥義の継続です。奥義は、確かに奥義を生み出します。神の奥義であるキリストは、キリストの奥義である召会をもたらします。召会、すなわち、奥義の中の奥義は、神のエコノミーにおける奥義です。

キリストの奥義としての召会は、別の世代では、人の子たちに知らされていませんでした。新約時代において、それは使徒たちと預言者たちに、まずキリストによって福音書の中で啓示され、次に聖霊によって書簡の中で啓示されました。パウロはエペソ3:5で、この奥義は「今や彼の聖なる使徒たちと預言者たちに、霊の中で啓示されています」と言っています。この奥義は、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されており、また旧約の聖徒たちに隠されていましたが、新約において啓示されました。

エペソ3章における大いなる事柄は、9節にある奥義のエコノミーです。エコノミーとは豊富の分与、分配です。使徒パウロは特別な働きを行なっていました。…私たちは真のクリスチャンとして、最初に主の御名を呼び求めた日から、奥義的なものが私たちの存在の中へと加えられたのを証しすることができます。キリストが私たちの中へと分与されました。キリストの奥義は、すべての豊富において経験されたキリストです。キリストの豊富を経験することは、キリストの何か、彼の豊富のある要素が私たちの中へと分与されたことを意味します。…私たちがキリストを経験すればするほど、ますます彼は私たちの中へと分与されます。彼の豊富を私たちの中へと分与することが奥義のエコノミーです。永遠の、奥義的な、理解できず、しかも甘く、豊富で、高いものが私たちの存在の中へと分与されており、私たちを喜ばしく、生きた、力強く、愛すべき、愛らしいものとします。これはキリストの豊富を享受することです。

多くの異なる国からの聖徒たちは、召会生活の中できれいに集会しています。…私たちは他の聖徒たちを見るとき、彼らの国籍が何であっても、自然に彼らを愛します。私たちの相互の愛の理由と動機は、…私たちそれぞれの内側にあるものが、他の聖徒たちの内側にあるものに応答するということです。たとえ私たちが互いの言語を理解することができないとしても、奥義の分与を経験しているので、互いに愛し合います。この愛の理由は奥義の分与です。

適用:奉仕者編

エペソ3:10 今、天上にある支配たちや権威たちに、神

の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり、
11 神が私たちの主キリスト・イエスの中で立てられた、
永遠の定められた御旨にしたがっているものです。

ビジネスパーソンであれば、自分が属する会社の社長のプランを理解するべきです。そして、あなたはそのプランに従って毎日仕事をする必要があります。もしあなたが会社の方針を理解しようとしないで、自分の業務を自分の方法で行うなら、必ず問題を持ちます。会社の方針に従って仕事をしないなら、あなたの業務は、会社全体がゴールに到達することを助けません。また、他者からの相乗効果的な助けを受けることができませんし、他者を助けて感謝されることもありません。従って、あなたは会社の上司や経営陣にとって、役に立たない人になってしまいます。このようなことは、会社の社員研修や管理者研修でも必ず取り扱われる重要な認識と実行です。

神の永遠のエコノミーのゴールは、キリストのからだである召会を建造することです。このために、あなたは宇宙の奥義から、神の奥義であるキリストに前進し、更にキリストの奥義である召会に前進するべきです。召会、キリストのからだは奥義の中の奥義であり、神のエコノミーの奥義です。神の奥義であるキリストが信者の中に分与される時、彼はキリストの奥義である召会に関わり始めます。内住のキリストのゆえに、あなたは神の家族、キリストの兄弟、からだの肢体になりました。

あなたはキリストを福音として聞く人たちに分与する必要があります。キリストに関する知識を伝えるのではなく、キリストを宣べ伝え、キリストを聞く人に分与します。このためにあなたは、自分の霊を活用し、罪を告白し、主を享受して、主と一つになってください。召会はキリストの知識を教えることから生み出されるものではありません。そうではなく、キリストの豊富を人々の中に供給することから生み出されるのです。奥義のエコノミーとは、キリストの豊富の分与です。

エド兄弟のリー兄弟に関する証し:私も証しすることができます、あなたも証しすることができますと知っていますが、リー兄弟はいつも新鮮であったということです。彼はいつも新しくなりました。私はいつも驚かされつづけました。彼が主に召される時まで、いつも新しいものを見ていました。リー兄弟は言いました、「もし私が古くなるなら、私は心配し始めなければなりません。私は古くなりたくないです。古びたくないです。新鮮でありたいです。主の臨在の新鮮さで満たされたいです」。

この証しはリー兄弟がいつも奥義のエコノミーである神聖な分配に開き続け、いつも新鮮な分与を享受していたことを証しています。あなたの奉仕が奥義のエコノミーの分与の中で祝福されますように。**祈り:**「主イエスよ、神の永遠のエコノミーのゴールは、キリストのからだである召会を建造することです。このゴールは、キリストの豊富の分与、分配によって生み出されます。リー兄弟がいつも主の分与に開き、主の臨在の新鮮さで満たされていたように、いつも新鮮な分与を享受して、キリストの豊富を人々の中に分与することができますように。自分の意見に従ってではなく、神のエコノミーに従って、奉仕することができますように。アーメン!」

CP3:信仰とは、望んでいる事柄を実体化することであり、見ていない事柄を確認することである。信仰によって、奥義の時代にキリストの奥義的なからだを建造する

OL1:奥義の時代は、信仰の時代です。

OL2:神の奥義は、信仰によって知らされます。こういうわけで、奥義の時代は、信仰の時代でもあります。

OL3:主の回復は、彼の召会を見えるものから見えないものに回復することです。**OL4:**信仰は、神が人においてご自身の新約エコノミーを遂行する唯一の道です。

OL5:信仰は勝利者たちに対する神聖な要求であり、この要求は、キリストが勝ち誇って戻られるとき、彼らがキリストに会って、王国の褒賞を受けるためです。

神は奥義的であり、神の霊も奥義的です。私たちの中におられるキリストは奥義的であり、私たちの救い、再生、義認、聖別も奥義的です。キリストのからだも奥義的です。召会は単なる人の集まりや会衆ではなく、キリストのからだであることを知るのには、信仰によります。私たちが兄弟たちであることを知るのも信仰によります。…私たちは神聖な霊と人の霊に関して自分の感覚を信頼すべきではありません。私たちの感覚によれば、神聖な霊や人の霊はないかもしれません。二つの霊の事柄に来るとき、私たちは信仰の中にいなければなりません。パウロは『私は信じた。それゆえに私は語った』と書いてあるとおり、同じ信仰の霊を持っているので、私たちも信じ、それゆえにまた語るのです』（Ⅱコリント 4:13）と宣言しています。パウロは知識、感情、感覚において語ったのではなく、信仰の霊の中で語りました。

信仰は常に対象を持っています。私たちの信仰の対象は神の御言葉です。信仰によって、私たちは神がおられることを知ります。なぜなら、聖書は神がおられると言っているからです。同じように、信仰によって、私たちは神がエコノミーを持っておられることを知ります。…その霊が私たちの全存在の中におられることは一つの事実です。しかしながら、私たちの経験と訓練によれば、その霊はときどき私たちの霊の中におられないように思われるのです。私たちは、聖書の言っていることをはっきりと知らなければなりません。…ですから、私たちはみな頻りに御言葉を読まなければなりません。私たちは御言葉に来てその中にあるものを知れば知るほど、ますます自然に信じるようになるでしょう。

全宇宙には二つの部類の事柄、すなわち、目に見える事柄と目に見えない事柄があります。歴史と宇宙の実際の状況によれば、見ていない事柄が見えている事柄を制御しています。例えば、私たちの存在の目に見える部分、すなわち、私たちの体は、私たちの存在を制御する要因ではありません。そうではなく、目に見えない部分、見るができない部分が、制御する要因です。私たちは体によってではなく、目には見えませんが実際のものである、内側のものによって制御されています。さらに、私たちの運命、将来は、見える事柄によるのではなく、見えない事柄によります。神は目に見えず、宇宙全体は彼の制御の下にあります。詩 103:19 エホバは彼の御座を天に堅く立てられた。彼の王国はすべての者を支配する。もし私たちが聖書の光の中で人類歴史を考察するなら、人類歴史がすべて見える事柄や見える人によってではなく、見るができないある方に

よって制御され、管理されているのを認識します。

適用:ビジネスパースン、大学院生編

信仰の定義:ヘブル 11:1 さて信仰とは、望んでいる事柄を実体化することであり、見ていない事柄を確認することです。6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。というのは、神に進み出る者は、「神はある」ことを信じ、彼を熱心に尋ね求める者たちに報いてくださる方であることを、信じるはずだからです。

信仰のストーリー:7 信仰によって、ノアは、まだ見ていない事柄について神から指図を受け、敬虔な畏れによって促され、彼の家の救いのために箱舟を用意しました。このことを通して、彼はこの世を罪に定め、信仰による義の相続人となりました。8 信仰によって、アブラハムは召された時、これに従い、嗣業として受けようとしていた場所へ出て行きました。彼はどこへ行くかを知らないで出て行きました。24 信仰によって、モーセは…26 キリストのそしりを、エジプトの財宝にまさる富と考えました。それは、彼が褒賞をひたすら望んでいたからです。兄弟の証し:1998年、私は仕事の関係等で神戸市西区の西神中央に住み、本山で別にマンションを購入し、そこで集会し始めていました。そして、吉田兄弟が神戸に来てくださった時、「あなたがたは集会所の近くに移住すべきである」と言われました。その当時、私は心の中で、色々な移住しないための言い訳を述べ始めました。しかし私の内側の信仰は直ぐに、「言い訳を言うてはいけません。吉田兄弟は正しいことを言っているのだから、従わなければならない」と言いました。そして信仰によって、自分が所有していたマンションを売却しました。その後1999年の夏に、本山集会所の土地を購入しました。私の名義で銀行から約5500万円を借りました。もし、信仰によって吉田兄弟の指導に従って西神中央のマンションを売却し、銀行ローンを完済していなければ、本山集会所のために5500万円銀行から借りることはできませんでした。当時召会の人数は10数名であったので、本山集会所の購入資金は、義父の献金と銀行ローンで90%以上を占めました。更に、本山集会所がなければ、魚崎集会所もなく、その後の六甲学生センター、六甲山リジョイスガーデンもありませんでした。そしてこれらの集会所の維持管理のために使っていた水道屋さんの会社兼自宅であった三宮集会所もあり得ませんでした。

すべては吉田兄弟を通して語られた主の語りかけに、信仰によって「アーメン!」を言い、従ったことから始まりました。私は明日、何が起こるのか分かりませんが、主はすべてをご存知です。信仰によって主と結合し、主と共に歩むことで大きな祝福を得ることができたと証しすることができます。

祈り:「主イエスよ、信仰は勝利者たちに対する神聖な要求です。私が救われたのも、再生されたのも、信仰を通してです。そして私たちが兄弟たちであることを知るのも、召会がキリストのからだであることを知るのも、信仰によります。アブラハムは召された時、どこへ行くかも知らないで主に従い出て行きました。私も主の語りかけに、信仰によって『アーメン!』を言い、従います。信仰によって、奥義の時代にキリストの奥義的なからだを建造します。アーメン!」